

各課所で行われている、県民サービス向上や業務改善に向けた意欲的な取組をレポートします。

## 職員のやってみたい魅力度アップ事業提案制度 (所属内アイデアオリンピック)の実施

自転車競技事務所

### ここがポイント

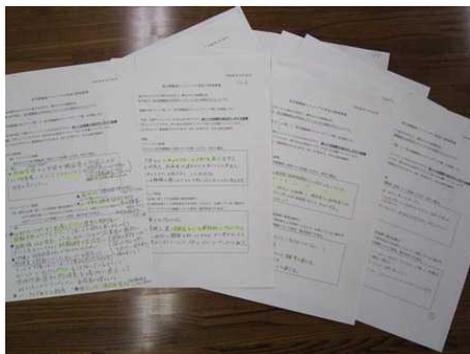
- 職員から「お客様の立場」でのアイデアを募集し、提案者が担当として実行
- 集客が向上したほか、職員の企画力アップや関係機関との絆の向上の効果も

#### 1 取組の背景

取手競輪場は、東日本大震災でメインスタンド及びバックスタンド等に大きな被害を受け、入場者数の低下を招いていました。

そのような中、復旧工事完了後の平成26年度を震災からの「復興記念」として、ニュー取手競輪場をアピールする絶好のチャンスと捉えました。

そこで、職員が自主的に知恵とアイデアを出して実行することにより、お客様に喜んでいただき、競輪場の活性化を図ることとし、「職員のやってみたい魅力度アップ事業提案制度」を創設しました。



寄せられた多くの提案

#### 2 取組の概要

この制度は、「大きな予算をかけずに、かつ、他者の協力を得られるもの」で、「自分がお客様だったらどうしてほしいか、何を嬉しいと感じるか」という発想の視点で、嘱託職員を含む所内全員を対象に事業提案を募集するものです。

その結果、何と45事業もの提案が集まりました。

このうち主に次の事業が採用され、原則として発案者(やってみたい人)を担当者として実施しました。

- ・競輪未体験者対象婚活パーティー(子ども家庭課協力)
- ・競輪初心者バスツアー(選手会OB協力。30人募集に462人応募)
- ・茨城選手応援コーナー(選手OB、選手会協力)

- ・競輪場内トリックアート販わい創出事業(東京芸大卒業生協力)
- ・表彰式で茨城銘柄米贈呈PR(農林事務所協力)
- ・競輪選手による子ども向け自転車教室(地元ホームセンター協力)
- ・プロと一緒に競輪体験！バンク試走体験&競輪教室(選手会協力)
- ・いばキラTVで競輪場PR(広報広聴課協力)
- ・選手会イケメングランプリ(選手会協力)

#### 3 取組の効果

平成26年度の本場入場者数は11万人で、前年度より2万4千人増(28%増)となりました。若い男女の入場者やカップルなどの初心者を見かけることが多くなるなど、提案事業の一定の効果があったと思われまます。

また、職員の自主企画が採用されるということで、モチベーションや企画力がアップしました。

さらに、競輪選手会、選手OB、地元企業、県庁各課の方々の協力を得られたこと大変感謝しておられました。特に、選手OBなど競輪関係者との絆が、一層深まったことが大きな収穫とのことでした。

震災後に生まれ変わった取手競輪場のさらなる魅力度アップに期待しましょう。



茨城選手応援コーナー

行革分権室  
から一言

事業提案数の多さと内容の面白さに驚きました。自分でアイデアを出して、協力を得ながら自分で実行することは、とても充実感があるでしょうね。前向きで積極的な雰囲気のある職場でした。